

SDGsビジネス開発の思考法

—— ビジネスを設計するための4ステップ

17のゴールのどれにどのように自社の事業を結びつけたらいいのか。最適なビジネスを生み出すための思考法を紹介する。

電通 Team SDGs

自社の強みや企業理念との相性で

SDGsを経営に活かす、あるいはビジネス化するという話題が多く聞かれるようになった。そのためのコンサルティングサービスや人材養成スクールなども登場している。一方で担当者は「どこから手をつければよいのか」と悩むことも多いのではないかな。

「電通 Team SDGs」は、クライアントのSDGsへの取り組みの支援や、社会への情報発信を行っている。当チームでは、「SDGs」を企業が「ビジネス」として成立させるための視点として、SDGsの特徴ともいえる以下4点を重視している。

①ひとつの目標に対する取り組みであっても、

複数の目標に関連する可能性があること

②事業として採算が取れるよう十分に収益を出すこと（事業として持続可能であること）

③複数のプレーヤーやセクターと共同でやっていくこと

④そのビジネスが人権を侵害するような新たな不平等を生まないよう配慮すること

これらは「SDGs」を成立させる基本要素である。この4点を満たしながら「SDGsビジネス」を設計するために必要になるのが、次の4つの思考ステップだ。

ステップ1

自社の強みが活かせる課題をセレクト

=絞り込もう

まずは「未来のありたき姿」を考える。2030



出所：「月刊 電通報」2019年7月号